

令和4年度 赤い羽根共同募金 募金総額 59,176,562 円

(金沢市共同募金委員会取り扱い)

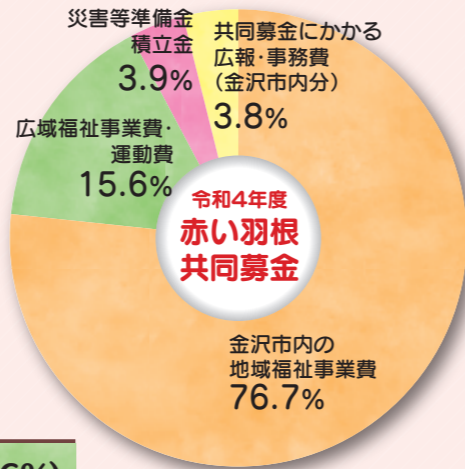
1 金沢市内の地域福祉事業費 45,380,716 円 (76.7%)

①地域福祉推進事業 (34,892,385円)

地域ごとに行われる高齢者への見守り・訪問活動、ひとり暮らし高齢者交流会、三世代交流、地域サロン、子育てサロン、障害者の集い(研修会)、地区社協広報誌の発行など

②歳末助け合い事業 (10,488,331円)

歳末時期に各地域で重点的に行う友愛訪問、クリスマス会、もちつき大会、歳末見舞品の贈呈など



2 災害等準備金積立金 2,305,000 円 (3.9%)

災害ボランティアセンターなどの拠点の整備や災害ボランティア活動、被災施設の修理等の災害時の資金需要に備えるため、平時から共同募金の一定額を積立

3 広域福祉事業費・運動費 9,253,000 円 (15.6%)

県内の民間福祉団体の事業、民間福祉施設の整備事業、県共募基金会の運動経費、中央共同募金会分担金など

4 共同募金にかかる広報・事務費(金沢市内分) 2,237,846 円 (3.8%)

※金沢市には、54の地区分会・共同募金委員会(おおむね小学校区ごとに1地区)が組織され、共同募金運動を行っています。集まった募金のほとんどが、各地区の福祉活動に活用されています。

★災害にも共同募金が役立てられています★

大規模な災害が起こった時の備えとして、各都道府県共同募金会では、平時より毎年の募金額の一部を法令に基づき「災害等準備金」として積み立てています。この準備金は、被災県に設置の災害ボランティアセンターやボランティア団体の活動支援などに役立てられますが、仮に被災県単体での積立金が不足した場合であっても、被災県以外の全都道府県共同募金会が保有する災害等準備金の中から被災県共同募金会へ拠出することができる、共同募金独自の、災害時におけるたすけあいのしくみです。



赤い羽根共同募金の詳細や
使い道については「はねっと」
(<https://www.akaihane.or.jp>)
をご覧ください。

金沢市 社協情報

はじめてみませんか?
ボランティア

No.198
2023.9.30

赤い羽根共同募金



運動期間 令和5年10月1日(日)～12月31日(日)

皆様のあたたかいご支援・ご協力をお願いします

赤い羽根共同募金は、社会の変化のなか、誰もが住み慣れた地域で安心して暮らすことができるよう、さまざまな地域福祉の課題解決に取り組む民間団体を応援する、身近な支えあい活動として、取り組まれています。また、募金が集まってから使い道を決めるのではなく、地域ごとに使い道や集める目標金額を事前に決めてから募金活動をする、「計画募金」という特徴があります。そのため、赤い羽根共同募金には市民の皆様のご協力が欠かせません。金沢駅前や香林坊での街頭募金、店舗での募金箱の設置、町会ごとの封筒による募金など、さまざまな場面でご協力をお願いすることがあります。地域福祉の向上にご理解をいただき、いずれかの場面で、善意をお寄せいただけますよう、よろしくお願い申し上げます。

スマホからも
募金できます。



共募の歴史



募金はこちらから

今号の内容

- 赤い羽根共同募金運動開始のお知らせ..... 1,4 ページ
- 学習支援教室について..... 2,3 ページ



学習支援教室

～一緒に過ごす中高生を募集しています!～

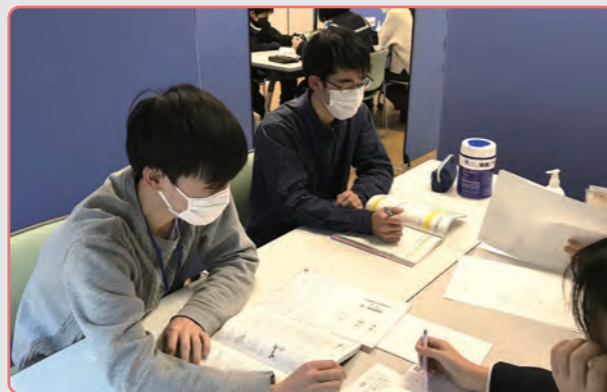
学習支援教室
(教室)って
こんなところ!



- ◆中学生、高校生を対象に、大学生の学習支援ボランティア(ボランティア)が勉強を教えています。
- ◆ボランティアとおしゃべりや、遊びなども交えながら、楽しく安心して過ごす中高生の居場所にもなっています。
- ◆教育や進路選択等に関する相談に応じ、子どもと保護者の双方に必要な支援も行います。

<基本情報>

- 場所**
金沢市松ヶ枝福祉館
- 開催日**
金曜日(毎週)
16時から19時 予約不要、自由参加
土曜日(月2回)
10時から16時50分 要予約、マンツーマン形式
- 参加費**
無料 交通費(バス代等)の補助があります。
- 対象**
金沢市在住の中学生・高校生。
(世帯収入等の要件があります)
詳しくはお問い合わせください。
- 電話**
080-7361-9083 (学習支援教室専用電話)



- ◆落ち着いて勉強ができる。(高校生)
- ◆勉強が面倒なときも楽しく勉強できる。(中学生)
- ◆たのしい!!(中学生)
- ◆お話ししたり、ゲームしたりするのが楽しい。(中学生)



参加する中高生の声

- ◆自分のペースに合わせて勉強することができるのでとてもいい!(高校生)
- ◆大学生がわからないところを優しく教えてくれる。(高校生)
- ◆大学生と話をしながら勉強ができ、心身ともにゆっくり楽しく過ごす場所!(高校生)

ボランティアにインタビュー!

ボランティアの中から3名の大学生に、ボランティアを始めたきっかけや活動で大切にしていることなどをお聞きしました。



子どもたちとの学習や会話の中で、自分も学びがあると感じたからです。わからなかった問題が自分のアドバイスで分かるようになった時です。雑談で子どもたちの新しい一面を発見したときも嬉しいです。中高生の皆さんから話してくれるように待つことを心がけて、話はさえぎらず相づちを打ちながら聞くようにしています。



たなか はるか
田中 春香さん
金沢大学地域創造学類3年
(福祉について学んでいます)



はやし かんじ
林田 侃次さん
金沢大学大学院人文学類
心理学専攻 院2年
(公認心理師の勉強をしています。)

大学で学んだことを実際に生かせると思い始めようと思いました。子どもたちが学校での出来事や自分のことを話してくれた時です。お互いに打ち解けることができ、笑顔で話してくれると嬉しいです。子どもたちの話に耳を傾けて、否定せずに聞くことです。子どもたちが持っている世界観を理解したいと思っています。

もともと関心があったので参加させていただきました。笑ってくれた時が一番うれしいです。自然とこちらも笑みがこぼれます。表情とコミュニケーションを大切にしています。話しかけやすさを大切にしています。



おおた りか
太田 琳々果さん
金沢星稜大学経済学部経営学科
4年(経営学、組織のマネジメントを勉強しています。)

Q どうやって勉強するの?

学校の宿題やワークを使って子どもたちのペースに合わせて勉強のお手伝いをしています。「今日はまず1人で問題を解きたい」「今日はこのページを全部教えてほしい」など自分の好きなやり方で大丈夫!!「勉強が苦手(*_*)」「大嫌いっ!」でも安心です。

Q 教室の開催日とあまり予定が合わない...

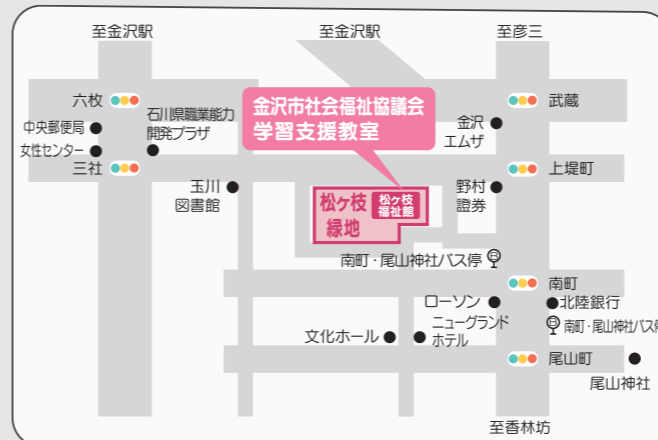
教室は、金曜日だけ、土曜日だけという参加も可能です。もちろんどちらも参加できます♪また、「土曜日参加したいけど、毎回は無理」などでも大丈夫です!

Q 教室では勉強だけ?

普通の教室でも、ボランティアと自由に楽しく過ごしています。また中高生とボランティアの交流を目的に、BBQなどの色々なイベントも開催しています!



Q&A



～ボランティアの皆さんから～

勉強だけでなく、おしゃべりや遊びなど、みんなそれぞれの楽しい時間を過ごしています! アットホームな雰囲気の中で、一緒に過ごしてみませんか?

社会福祉法人金沢市社会福祉協議会 金沢自立生活サポートセンター
TEL 076-231-3720 FAX 076-231-3560 Eメール support@kana-syakyo.jp 金沢市高岡町7-25 金沢市松ヶ枝福祉館2階